

解雇問題を解決し
安全・安心のJALを

航空連ニュース

航空労組連絡会
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル
Tel 03-3742-3251
Fax 03-5737-7819
No.898(32-8)2017年11月2日

保安任務を全うしたい・健康に働きたい なのに・・・ いま JAL CA の職場実態は???

現在、日本航空の客室乗務員の職場では、昨年 11 月に改悪された勤務基準のもとで健康破壊が進んでいます。会社は営業利益を上方修正するなど、大きく収益を伸ばしていますが、部門別採算性により客室部門での費用削減・稼働強化・機内販売の売り上げ拡大施策等が進められています。職場から CCU（日本航空キャビンクルーユニオン）に寄せられている声を紹介して実態をお知らせします。

◆みんな疲れ果てています！

この勤務になってから、疲労が蓄積されているのか眠れない日が増えた。客室乗務員の勤務は特殊で時差も伴う。オフィスでの業務とは疲労度が全く異なる。一般職の方と同じ休日数では体調維持は困難。JAL フィロソフィで「尊い命をお預かりする仕事」とあるが、客室乗務員の命は尊くないのか。このまま改善されないのであれば、年度内の退職・転職を考える。

「何のために働いているのか」と思う時がある。お給料も少ない、休みも取れない。人間として、社会人として真っ当な生活を送りたい。



この勤務になってから身体を壊してしまい、休まざるを得なくなつた…

魅力に欠け、収入も上がらない職場に勤務改悪で健康面の不安も増大し、若者が辞めていくのも必然。



スケジュールがきつくなりフライトタイムも増える一方、疲れが取れずに仕事をしているからミスが増える。なのに会社は「忘れ物はするな」「セールスでミスするな」「有意注意で仕事しろ」といいたい放題。

精神的にも身体的にも長く続けられる自信がなくなったので転職を悩んでいる。この生活から一刻も早く逃げ出したいです…

保安要員の CA がこんなに疲れた状態で良いのか、自分でも不安になる。このまま勤務が変わらないのであれば転職します。この仕事、サービスが好きだっただけに残念です。



◆CA は保安要員です！行き過ぎた売り上げ競争は止めて！



日本航空では、路線ごとに CA の 1 人当たりの機内販売売上目標額が設定されています。フライト終了後には、達成度を確認して各自で結果を記録します。これを月末にグループ単位で集計して会社に報告していますが、成績が悪いグループは改善策の提出を求められます。

売り上げが悪いと「増収活動業務報告書」の提出を求められます。はっきり言って「反省文」です。しかも簡単なものでは納得してもらえず「原因と対策」「今後のアクションプラン」など詳細な報告書の提出を求められます。本当に負担です。疲れしました。辞めたくありません。

乗員部でマネージャーに会うと、挨拶よりも先に「セールスが」と、グループの売り上げの話がされます…私たちが常に頭から離れず、モチベーションが下がるばかりです。

着陸前、1万フィートギリギリまでセールス販売のためカートを出していたグループがありました。安全上の問題が大きいですが、そこまで圧力をかけられているのだと感じました。

